

2016年3月14日

報道関係各位

ソーラーフロンティア株式会社

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池 降雹（こうひょう）に対する耐性を国際試験機関が確認

【東京-2016年3月14日】ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場 2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、電子機器関連の独立試験機関である VDE Testing and Certification Institute（以下：VDE）が実施した試験において、CIS 薄膜太陽電池の降雹に対する高い耐性が確認されたことをお知らせします。この試験により、当社製品にゴルフボール同等の直径 45 ミリの雹に対する耐性があることが認められました。

一般的な降雹の耐性試験¹では直径 25 ミリの氷球を時速約 83 キロで太陽電池モジュール表面に衝突させることにより試験されますが、今回 VDE が実施した試験においては、直径 45 ミリの氷球を時速約 110 キロで衝突させました。氷球衝突後に実施した目視検査や出力測定などの結果、ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池が国際規格の要求品質を満足することが確認されました。

ソーラーフロンティアの CIS 薄膜太陽電池は、アンモニア高濃度地域（家畜飼育場や鳥が群生する地域）、塩水飛沫地域（海岸線）、砂嵐の頻発地域（中東全般およびアメリカ南西部の砂漠地帯）など、過酷な設置環境に対する耐久性認証を既に取得しています。加えて、今回の降雹に関する耐性試験結果は冬の嵐が頻発する欧州などの地域で安心して使用できることを証明するものです。当社製品は、国内工場において完全自動（最終品質検査を除く）で生産されており、強固なガラス表面やアルミニウム製フレームの採用、および優れた密閉技術によって高い耐久性を実現しています。

ソーラーフロンティアは、これまで世界 50 ヶ国に向けて累計 3 ギガワットを超える CIS 薄膜太陽電池を出荷してきました。これらの地域には、降雹の被害を受ける可能性があるアメリカ北部各州やスイスなどに加え、国内では北海道などが含まれます。

ソーラーフロンティアは今後も、長期に亘って安心してご使用いただける製品の提供を通じて、より快適でクリーンな暮らしを世界中のお客様にお届けしてまいります。なお、降雹に対する耐性試験についての詳しい情報は、ソーラーフロンティアのホームページ（www.solar-frontier.com、www.solar-frontier.eu）をご覧ください（英語またはドイツ語のみ）。

¹ IEC61646：氷球衝突に伴う太陽電池パネルへの影響に関する国際規格。



ゴルフボールと同等の大きさの電のイメージ写真

以上

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は昭和シェル石油株式会社（5002, T）の 100%子会社であり、CIS 薄膜太陽電池の生産・販売を行っています。2011 年 2 月より商業生産を開始した国富工場（公称生産能力 900 メガワット）は、CIS 薄膜太陽電池の生産工場として世界最大です。ソーラーフロンティア株式会社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、銅、インジウム、セレンを使用して、当社の独自技術で生産する次世代太陽電池であり、経済効率が高く、環境に優しいことが特徴です。太陽電池の設置容量（kW）あたりの実発電量（kWh）が従来型のものに比較して高いだけでなく、原料からリサイクル処理まで高い環境意識で設計・生産されており、その長期信頼性や保証体制に関しては「JETPvm 認証（JIS Q 8901）」などの第 3 者機関による認証を受けてきました。デザイン面でも、内閣総理大臣表彰「第 2 回ものづくり日本大賞」で優秀賞（製品・技術開発部門）、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する「2007 年グッドデザイン賞」では特別賞エコロジーデザイン賞を受賞しています。詳細につきましては[当社ホームページ](#)をご覧ください。当社公式の[ブログ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#) でも太陽光発電に関する最新情報などを随時発信しています。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792